

ほけんだより

平成29年 12月号

小禄中学校保健室 発行

12月に入り、南国沖縄もようやく冬らしくなってきました。今年も残すところ、あとわずかとなりましたが、2017年は健康で楽しく過ごせましたか？この時期は、気温の変化が激しく体調を崩しやすくなります。栄養・睡眠をたくさんとって風邪・インフルエンザを予防しましょう！また、修学旅行やクリスマスなどの楽しいイベントも盛りだくさんです♪ 2017年もラストスパート！きちんと体調管理をして、元気いっぱい過ごしましょう◎

☆2017年 世界エイズデーキャンペーンテーマ☆

UPDATE! エイズのイメージを変えよう

12月1日 世界エイズデー



HIVに感染しても早期の治療で、エイズの発症を防げるようになりました。

また、治療によってHIV陽性者から他の人への感染リスクが低下することも確認されています。けれど、そうした情報が十分に伝わらず、HIV・エイズは治療法がない死の病気と思っている人もいます。そのことが差別や偏見を招き、また、HIV感染を心配する人たちを検査から遠ざけているとも言われています。情報をUPDATE（更新）して、エイズのイメージを変えましょう！それはHIV・エイズに関する行動に変えることにもつながります。

感染経路はこの3つ！

①血液感染

HIVが存在する血液が体内に入ることにより感染の可能性が高まります。

例えば血液の輸血や覚せい剤などの注射の回し打ちによって感染します。



②母子感染

母親がHIVに感染している場合、妊娠中や出産時、授乳によって赤ちゃんに感染することがあります。しかし、治療薬や帝王切開、母乳を与えないことで赤ちゃんへの感染を抑えることができます。



③性的接触

最も多い感染経路です。HIVは主に血液や体液（精液・膣分泌液）に含まれているため、性的接触による感染が増加しています。自分が感染しているとは知らず、相手を感染させてしまう可能性もあります。



日本と沖縄の現状

※厚生労働省エイズ動向委員会報告（2016年末）

	日本	沖縄
HIV感染者	18,920人	221人
AIDS患者	8,523人	117人



人口あたりの報告数（沖縄県）

＊HIV感染者…全国3位

＊AIDS患者…全国10位

特に20～30代で増加しており、ほとんどが性的接触による感染です。

HIV/AIDS感染者情報

平成28年版

平成28年、日本で報告された新規のHIV感染者は1,011件。また新規のAIDS患者は437件でした。数字を見ると、平成21年頃の高い数値のまま横ばいで、なかなか減少傾向がみられません。ちなみに10～19歳の新規HIV感染者は15件でした。

また、診断された時すでにAIDSを発症していた人が3割ほどいる状況も続いています。早期発見の機会を逃している人がそれだけいるのです。



現在ではAIDSの治療法は大きく進歩しました。またHIV感染の早期発見で普通と変わらない生活を送れることも期待されています。保健所では無料・匿名の検査ができます。正しい情報を入手して行動することを、広くすすめていきましょう。